

<p>ご意見</p>	<p>・双葉保育園との統合まで、小学生との交流を増やすなどしてこのまま2園を維持してもよいのではないかと。精華幼と愛児幼が統合した精華小学校附属愛児幼稚園に愛児の名前を残したように、「養正」という名を消してほしくない。少人数であれば異年齢保育を行うなどの保育の仕方を現場の先生と共に工夫することで、社会性を養うことは補えるのではないかと。</p>
<p>担当課</p>	<p>・平成30年に昭和幼稚園59人いた園児が令和7年は28人。平成30年に養正幼稚園63人が令和7年は23人。3学年合わせての人数である。統合時にどのくらいの人数規模になっているかは不明だが、今より増えることはないかと予測している。同年齢の集団のなかで、普段から生活や活動を共に積み重ねていく中で関係性を深め、社会性を育てていくことが教育保育現場では必要だと考えている（幼稚園教育要領に明記）。その環境を整えることを最優先に考えたい。</p> <p>・養正幼稚園は歴史ある園であり、お気持ちはよくわかる。しかし、最優先は子どものことである。普段の集団生活の積み重ねができる環境を最優先に考えたい。</p>
<p>ご意見</p>	<p>・2020年に本庁舎の移転の話が出てから5年間、川南のまちづくりにつながる本庁舎跡地の活用について話し合ってきた。日中の賑わいを作る、人口減少を食い止め多治見市に人を呼び込むことを考えてきている。川南に人を呼び込むためには、子育てが重要である。この地域から幼稚園を失くさないでほしい。オリベストリートには年々観光客が増えてきており、ぎんざアーケード街も少しずつシャッターが開き始めている。本庁舎跡地は賑わい、市外の人も地域の人も集える場所にしていきたいと考えている。春頃から統合こども園が本庁舎跡地にできると聞こえてきたが、この跡地を候補地としないよう要望する。</p>
<p>担当課</p>	<p>・こども園の場所については決まっていない。未定である。子どものことを第1に考えて計画した。小規模な園が分かれて存在しているのではなく、100人規模の園で子どもたちがある程度の人数規模のなかで社会性を身につけていく環境を整えられることは、（小学校へつなぐ）架け橋期の子どもにとって重要なプラス要素である。今の子どもたちのことを考えて幼稚園同士の統合がベターであると考えた。</p>
<p>ご意見</p>	<p>・100人規模の保育園と30人程度の幼稚園の卒園児、今の1年生の学力や社会性の差を調べたのか。</p>
<p>担当課</p>	<p>・実際の学力の点数は調べてはいない。幼児期に社会性を身につけているかどうかは、小学校へつなぐ架け橋期にとって重要だと考えている。学力だけではないと思っている。（幼稚園教育要領にも同年齢での関わりから、集団の中で主体性や社会性を育む重要性について明記されている）子どもの社会性はある程度の人数規模の中で育った方が身につけやすいという、現場のこれまでの実体験をもとに感じている。一人一人の社会性を計ったことはない。</p>
<p>ご意見</p>	<p>・幼稚園の人数を確保し、残すための努力はしてきたのか。</p>
<p>担当課</p>	<p>・預かり保育の時間延長、日数増加、夏休み期間中の預かり保育の実施など、声はいただいていた。実施に向けて検討してきたが、加速する3歳未満児の保育ニーズに対応する体制を整えることが先決であり、人員不足のなかでの実現は困難であった。力不足はおっしゃる通りである。</p>
<p>ご意見</p>	<p>・人口推移をみての判断か。3歳未満児の受入れは現存施設だけではできないのか。加速度的に子どもが減っていることを見極めての発言か。</p>
<p>担当課</p>	<p>・0・1・2歳児の令和7年4月の人数は1,510人、うち3歳未満児の就園児数は587人、「就園率」は38%である。就園児数は横ばいだが、第2子以降の3歳未満児の保育料無償化の影響もあり「就園率」は更に高くなると予想している。私立の小規模事業所を含めて3歳未満児の受け皿を増やしていく必要がある。</p>

ご意見	・幼稚園型の認定こども園（かつ、未満児を預からない）とすれば、養正幼稚園と昭和幼稚園のそれぞれをこども園にする弊害（給食室設置義務）もなくなるのではないか。それも含めて考えての結論か。それとも納得するまでこういう会議をしてもらえるのか。この地域を持続可能にするには幼稚園の存在は大事である。考えてほしい。
担当課	・幼稚園型のこども園（かつ、未満児を預からない）の場合、預かり時間の柔軟な対応は可能だが、現在の保育ニーズは3歳未満児が大きなウエイトを占めている。この保育ニーズに応えていくために、幼稚園型のこども園ではなく幼保連携型のこども園が望ましいと判断した。納得はいただけないかもしれないが、何度でも意見交換をさせてもらいたい。養正・滝呂校区の0～5歳児の人口と園児定数を見たとき、人口約500人に対し、公私立含めた幼稚園・保育園の定員数は約1,000人程度の枠がある。市全体のバランスを踏まえ、この方針が望ましいと考えている。地域の皆様に少しでもご理解いただけるよう話し合っていきたい。
ご意見	・人口減少を全国的な数字ではなく、多治見市としての人数調査や多治見市に永住するための若者の意識をつかんでいると思う。きめ細かい人数調査はしているのか。
担当課	・人数調査についてはお示した通りである。多治見を魅力あるところにするためにも、地域の皆様方にお力をいただいている。（公立幼稚園の良さを理解してくださる方も多く）少しでも長く公立幼稚園を残したいという考えも強く、将来を見据えての分析力が足りない部分もあったかもしれない。
ご意見	・1歳児の子どもがいる。養正幼稚園に入園するものと思ってきた。統合した時に、養正地区に住んでいる人が、昭和に通うだろうか。今の人数がそのまま増えるとは考えにくい。人数を増やして社会性を育ててほしいと願っているが、この先10年くらいの計画があれば教えてほしい。
担当課	・園児数が増加に転じることはないだろう。令和15年の双葉保育園との統合までは、何とか公立幼稚園として延命させたい。
ご意見	・統合は必ずされるのか。覆されることはないのか。
担当課	・令和10年の統合で進めるよう準備していく。そのために説明をしていく。
ご意見	・統合について保育士への聞き取り等はしてきたのか。こども園となることで保育士の負担はないのか。保育士不足と聞くが確保についてはどうか。
担当課	・令和2年度から幼保の将来的なあり方検討プロジェクト会議という、公立園から代表が1名ずつ委員として各園の意見を持ち寄って検討を繰り返してきた。 ・大きな負担はないと考えている。保育士確保については新卒だけでなく昨年度から経験者採用も行い、積極的な採用をしており、今年4月は16人の採用であった。正規職員を増やし、要支援児のサポートや保育の質の底上げを図っていく。
ご意見	・新卒が辞めないようにする工夫はしているか。
担当課	・育休復帰の際に、家庭と育児の両立で悩む職員はいる。そこを解消できるよう正規職員を大幅に増やし、時短勤務等ができる体制づくりに取り組んでいる。
ご意見	・養正幼稚園の跡地利用は何か考えているのか。構想があれば聞かせてほしい。できるならば、子どもに係る活用を望む。また、支援を必要とする子が取りこぼされないように、今の体制が統合後も継続されるのか。
担当課	・跡地利用については未定である。地域の皆さんの意見をお聞きしながら考えていく。支援が必要なお子さんを取りこぼさないように、サポートする職員の確保、質の高い保育の継承をしていく。

ご意見	・令和10年の昭和と養正での統合から15年の双葉のこども園統合までに5年の期間がある理由は何か。
担当課	・急激な園児数減少に危機感をもって幼稚園の統合計画を進めているが、統合こども園の場所は決まっていない。決めてから進めるべきであるというご意見も頂戴した。既存園舎で進めればよいかもしれないが、新しい建物ではない。建て替えるとなると、場所をしっかりと選定し、設計して進めていくためには5年は要する。
ご意見	・双葉保育園を早めに認定こども園化することができれば、養正幼稚園の子が同じ校区内に通うことが可能になるのではないか。
担当課	・幼稚園として延命させたいと計画している。こども園とするには保育士の配置が間に合わない。令和15年まで園児数がどう推移していくのか見極め、ご意見として賜っておく。
ご意見	・たくさんの園を見学し、養正幼稚園を選んだ。その気持ちを分かってほしい。 ・養正の子は養正で育つ。養正の子は養正小学校へ行くため養正の地域の人と交流すべきである。養正校区内に園がある大切さを分かってほしい。
担当課	・養正幼稚園は養正小学校の隣に位置し、小学校生活に期待をもてるよい環境にある。その中で統合話のため、保護者さんの痛みは強く感じている。申し訳ない。
ご意見	・方針は変えないが、話を聞くでは困る。決定のタイムリミットがあるのではないか。今後対話集会を続けるのか。次回の日程は、当事者である保護者の意見を優先して決めればよい。
担当課	・これまで現場の声を聴いて意見を集約しながら検討し、方針決定をした。令和10年で幼稚園を統合する。本日たくさんいただいたご意見のなかで、今の結論の中で何か方策が見いだせるのか整理する。
ご意見	・園の説明会では、園児募集を始める8～9月が決定を示すタイムリミットと聞いていた。答えありきで話を聞くというスタンスだと捉えていたが、意見を聞いて変わることがあるのか。
担当課	・これまでご説明してきた通り令和10年の統合で進めていく。様々な意見は持ち帰り整理する。10月の園児募集を知らせる広報は8月がリミットであるため、そこで決定できることが最適である。しかし、対話しながら進め、その段階では「検討している」と示すことになるかもしれない。これまでの説明会で保護者様の意見からも、次の入園の際に「知らなかった」ということがないように周知し、園選択をしてもらえるようにしたい。
ご意見	・来年度養正幼稚園に入園する子は、令和10年度の園移動を見据えて入ってくるのか。
担当課	・そうである。令和9年度末の在園児は、令和10年度に昭和幼稚園に移るか、他の園を選択し転園するかは保護者の選択となる。
ご意見	・定員をぎりぎり設定しないでほしい。人数に余裕をもたせた定員にしてほしい。園が空いているから、若い世帯が駅から近い立地のこの場所に越してきたくなる環境を作るべきである。
担当課	・人口推移や保育ニーズを踏まえ決定したい。現在3歳未満児ニーズが高い。小規模保育所を増やしている。ご期待に沿えるように努力していく。
ご意見	・昭和幼稚園から昭和小学校へ入学する人数は何人か。今年の1年生35人中、昭和幼稚園から入学したのは5人と聞いている。また、1年生35人は11の幼稚園保育園から来ているとのこと。
担当課	・現在は3学年合わせて、28人中15人である。

ご意見	・15人を3学年で割れば5人程度となる。割合としては14%程度となり、幼稚園は地域性があるとは考えにくいと数字上から捉えることができる。明和幼稚園の閉園についてはいつ、どのように決定したのか。
担当課	・明和幼稚園は急激な園児減少から、令和5年に保護者・地域説明を経て決定した。
ご意見	・いつ頃決定するのか明らかにしてもらえると覚悟ができる。絶対に反対する人はいると思う。納得いく形にすることは必要だがこのままずるずる先延ばしになっていくのは心配である。意見を聞いていただけることはありがたいが、親としては受け入れるしかないと思っているため、いつまでに決定するかを決めてほしい。
担当課	・できるだけ早く決定したい。8月に決定出来れば入園申し込み間に合うため目指したいが、しっかり話をして決定する。
ご意見	・何をもって決定なのか。
担当課	・議会の条例改正をもって最終決定となる。議会に提案できる状態が整ったら、保護者へは文書で、地域の方へは回覧等で伝わるよう周知する。
ご意見	・こども園の場所が未定だが、駅に近い場所にきた場合、養正地区の方は困るのではないか。
担当課	・場所についてはニーズを踏まえて検討していく。
ご意見	・送迎ステーションについては今どのような状況か。
担当課	・統合して園の数が少なくなっていくと、送迎での不便をお掛けすることになることは予想している。アンケート結果では、あった方がよい、無くてよいが半々くらいであった。それよりも今は3歳未満児の受け皿を拡充させていくことを優先として進めている。
ご意見	・統合こども園は0歳児保育もあるのか。
担当課	・0歳児はない。1歳児から5歳児までである。
ご意見	・こども園の場所が決まっていないが、議会で最終決定するとの話であった。2段階で決定するのか、こども園の場所を含めての決定なのか。
担当課	・2段階で考える。1. 昭和・養正の統合。2. 統合こども園の場所の決定。